

1. 対象部材

屋外用たて引きストレーナーキャップ

略称：CjK ストレーナーキャップ

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

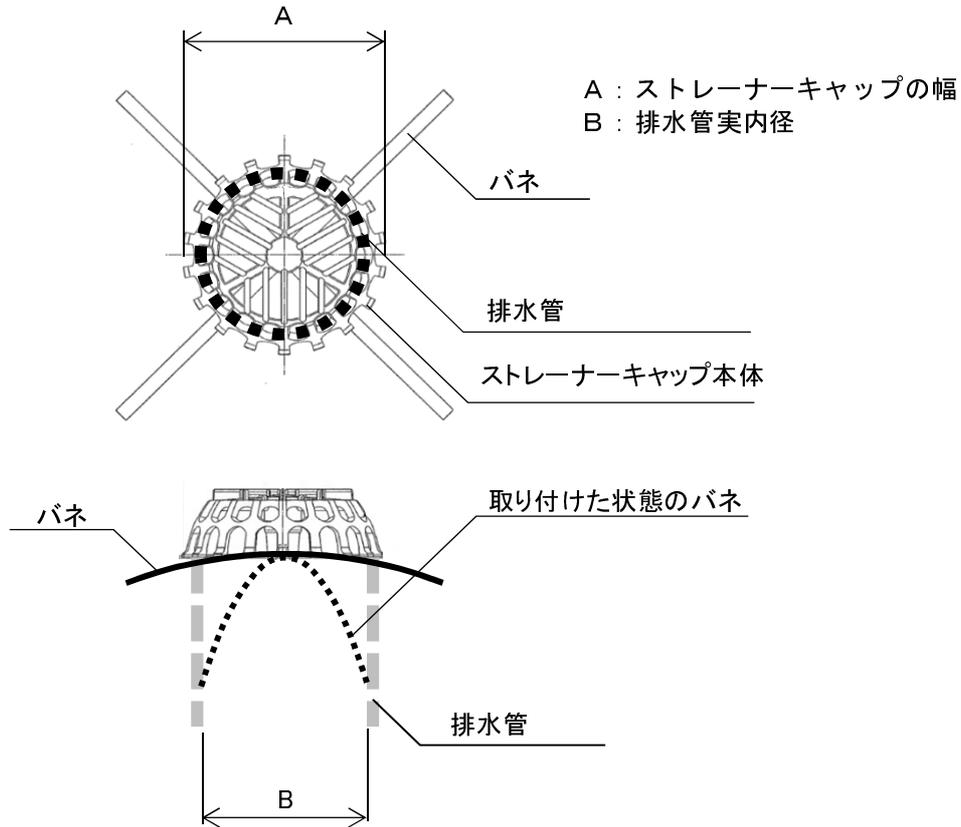


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	①	②	③
		$40 \leq B \leq 56$	$56 < B \leq 67$
A：ストレーナーキャップの幅	≥ 66	≥ 77	≥ 93

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK” マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 関連部材の具備すべき条件

ストレーナーキャップが取り付けられる排水管の内径は、40mmから83mmとする。
これは、排水管としてVU管（VU40～VU75）、VP管（VP40～VP75）
を使用していることによる。

5.2 ストレーナーキャップの形状・高さ

ストレーナーキャップの形状、高さは定めない。

これは、ストレーナーキャップを設置する場所によって求める機能が異なることによる。

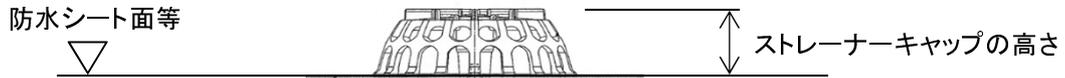


図2—ストレーナーキャップの高さ

5.3 ストレーナーキャップの固定

- ・ストレーナーキャップの固定はバネによるものとする。
- ・バネの形状・本数・固定位置はこれを定めないが、強風による飛散等が生じない程度の保持力を有するものとするのが望ましい。
- ・固定用バネが排水管に干渉する場合は、バネを適宜切断し取り付けることを前提とした。その場合のバネの残存寸法は、ストレーナーキャップががたつかない程度とする。

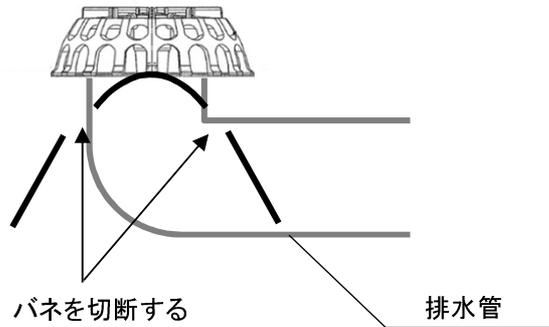


図3—固定バネの加工

5.4 ストレーナーキャップの選択

ストレーナーキャップの幅の上限を決めていないことから、溝の中にある場合等納まらないことがあるため、ストレーナーキャップの選択に当たっては、現場の納まりを確認する。

6. 解説

ストレーナーキャップの幅は、排水管にはまり込まない程度の寸法とした。

その程度は、排水管の中心を通る線上において、排水管内面からストレーナーキャップ外周の端空き寸法（ a 及び b 、 a' 及び b' 等）合計の最小値が10mm以上となることとした。

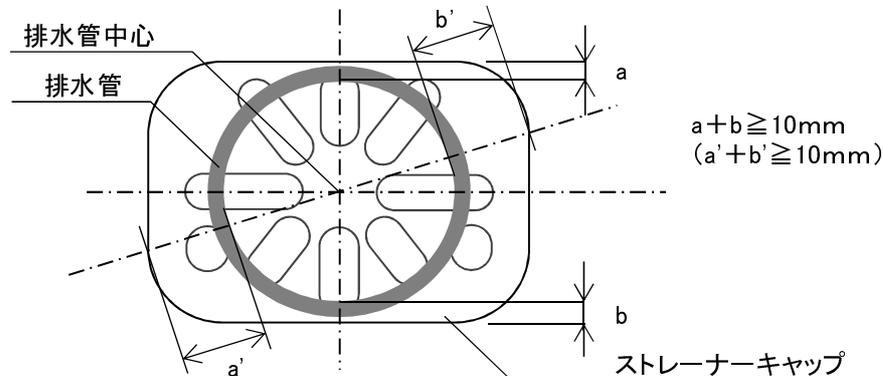


図4—ストレーナーキャップの形状例

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。